

学文中修学旅行@志賀高原

2日目・・4月13日(月)

今日は朝から雪、しかも時折相当な強風が吹きよな悪天候でした。それでも実習可能ということでゲレンデに向かいました。ファミリースキー場は強風のため、そのお隣のタンネの森スキー場をメインにして実習が始まりました。生徒たちは春という季節を忘れさせるような降雪の中、奮闘しています。



館内でクラス写真を撮りました



雪がちらつくゲレンデで実習スタート。



お向かいの焼額山もグレーの空に溶け込む。



比較的安定したスタンスができてきた。



一の瀬第8クワッドに乗る。



カレーライス・スパゲティ・から揚げ・サラダ



実習班ごとにウエアのままランチをとる。



昼からは吹雪状態になるも、実習敢行。



シラビソの木がクリスマスツリー状態に。



降り続く雪の中で笑顔を絶やさず滑る。



上部ゲレンデはまったく見えない。



レストハウスでしばしの休憩。

前日の天気予報は雨。朝起きてみるとなんと雪。山ノ内町の天気予報が雨でも標高 1600M を超す一の瀬、さすがに雨ではなく、雪ということになったのでしょうか。風も強く、リフトに乗ったら横殴りの雪が頬に当たり、とても痛い思いをしました。それでも、インストラクターの皆様と生徒たちによる粘り強い実習の成果として明らかな「滑り」の感覚として味わわれるようになりました。「あきらめない気持ち」という学校長の期待が天候の悪条件にもかかわらず、達成されようとしていました。



信州体験コースで学ぶ生徒たち



疲れた体にエネルギーを。



学年レク



学年レク



学年レク



学年レク

春を迎えているのに志賀高原は完全に冬の姿に戻ってしまいました。残念といえばそうなのですが、文中生は、山と自然の厳しさの中で寒さや風に耐えながらスキー実習をやり遂げる気概を示したのでした。

そしてこの日の夜、冬にあらがうことで冷えて疲れ切った身も心も驚くべきホットな情熱の渦に巻き込まれるひと時を過ごすことができました。学年レクです。実行委員たちやレク出演者がずっと準備を続けてきた「想い」が見る者・聞く者の心を熱く温めてくれました。出演者だけでなく、見て聞く立場の生徒たちも感動と協力の輪を重ね合わせてくれたことで、学年レクは大きな成功をおさめることができました。

この学年の力やほんものの心をこれからの1年間、大いに期待させるひと時になりました。

明日14日は最終日、もっとスキーをしたい気持ちを心にしまっておいて西宮に帰る日となります。